

Catalyst 9800 ワイヤレス LAN コントローラの 推奨 Cisco IOS XE リリース

内容

[はじめに](#)

[背景](#)

[TAC が推薦するビルド](#)

[IOS XE 17.17.1](#)

[IOS XE 17.16.1](#)

[IOS XE 17.15](#)

[17.15.3](#)

[17.15.2b](#)

[17.15.2](#)

[17.15.1](#)

[IOS XE 17.14.1](#)

[IOS XE 17.13.1](#)

[Dublin 17.12](#)

[17.12.5](#)

[17.12.4](#)

[17.12.3](#)

[17.12.2](#)

[Cupertino 17.9](#)

[17.9.7](#)

[17.9.6](#)

[17.9.5](#)

[17.9.4a](#)

[17.9.4](#)

[17.9.3](#)

[Bengaluru 17.6](#)

[17.6.8](#)

[Amsterdam 17.3](#)

[17.3.8a](#)

[ジブラルタル16.x](#)

[ハードウェア 9800 WLC 上のフィールドプログラマブル \(FPGA\) ファームウェア](#)

[9800 WLC での高可用性ソフトウェアメンテナンス](#)

[ISSU](#)

[ソフトウェア メンテナンス アップグレード \(SMU\) パッチ](#)

[アクセス ポイント サービス パック](#)

[アクセス ポイント デバイス パック](#)

[ガイドラインと要件](#)

[Cisco.com での各種 9800 の SMU、APSP、および APDP イメージの場所](#)

[Software Defined Access \(SDA\) に関する注意事項](#)

[Inter Release Controller Mobility \(IRCM\)](#)

はじめに

このドキュメントでは、Catalyst 9800ワイヤレスLANコントローラ(C9800 WLC)用の最も信頼性の高いCisco IOS® XEソフトウェアを検索するためのガイダンスについて説明します。

背景

このドキュメントの情報は、次を含む C9800 WLC のさまざまなフォームファクタに適用されません。

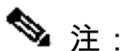
- アプライアンス(9800-40、9800-80、9800-L、CW9800M、CW9800H1、CW9800H2)
- 仮想コントローラ (プライベートおよびパブリッククラウド環境では9800-CL)
- Catalyst 9000 シリーズ スイッチ上の Embedded Wireless Controller
- Catalyst アクセスポイント上の Embedded Wireless Controller (EWC-AP)

C9800 でサポートされるアクセスポイントモデルは次のとおりです。

- Cisco IOSベースの11ac Wave 1アクセスポイント(1700/2700/3700/1572) (一部のリリースにはありません)
- COS ベースの 11ac Wave 2 アクセスポイント (1800/2800/3800/4800/1540/1560)
- COS ベースの Catalyst 11ax 91xx シリーズ アクセスポイント (9105/9115/9117/9120/9130/9136/9164/9166)
- Cisco Wireless 917xシリーズアクセスポイント(CW9176/CW9178)

これらの推奨事項では、AireOS WLC と C9800 WLC の併用が考慮されています。推奨事項は、Catalyst 9800 WLC に適用可能な Cisco IOS XE ソフトウェアのすべてのリリースを対象としています。通常、新しくリリースされたバージョン (メンテナンスリリースまたは新しいコードトレイン) には、現場での作業に6 ~ 8週間以上の時間が与えられ、重大な問題が報告されない場合に限り、Cisco General Recommendationの対象となります。これらの推奨事項は、社内テストやTACケースなどを通じてフィードバックを受け取ると更新されます。

TAC が推薦するビルド



注：

- 1) SMUおよびAPSPにはNetwork Advantageライセンスが必要です。Network Essentialsライセンスを使用した導入の場合は、Cisco TACからエスカレーションイメージを要求できません。エスカレーションイメージへのアップグレードにはダウンタイムが必要です。
- 2) APSPはインクリメンタルです。つまり、各APSPバージョンには、以前のすべてのバージョンのAPSPからの修正が含まれています。
- 3)最新のAPSPが常に推奨されます。APSPの下のバグを評価し、APモデルの修正を含むAPSPを展開に適用します。
- 4) Cisco IOS XEリリース17.10.1、17.11.1などの短期リリース、および17.9.1、17.9.2などの以前のメンテナンスリリースについては、脆弱性/セキュリティサポートが終了している

ため、このドキュメントでは取り上げていません。C9800 WLC用のすべてのCisco IOS XEリリースのサポート終了(EOL)通知については、[EoL Bulletin](#)を参照してください。

5)このドキュメントでは、多数の導入で見られるリリースの不具合修正のみを記載していません。特定のリリースに影響を与えるバグについては、[Bug Search Tool](#)を使用してください。

シスコワイヤレスプラットフォーム	推奨リリース
Cisco Catalyst CW9800M	Cisco IOS XE 17.15.3 (APSPおよびSMU搭載)
Cisco Catalyst CW9800H1/Cisco Catalyst CW9800H2	Cisco IOS XE 17.15.3 (APSPおよびSMU搭載)
Cisco Catalyst 9800-CL	Cisco IOS XE 17.12.5
Cisco Catalyst 9800-80	Cisco IOS XE 17.12.5
Cisco Catalyst 9800-40	Cisco IOS XE 17.12.5
Cisco Catalyst 9800-L	Cisco IOS XE 17.12.5
AP上の組み込みワイヤレスコントローラ(EWC)	Cisco IOS XE 17.12.5
Catalystスイッチの組み込みワイヤレスコントローラ(EWC)	Cisco IOS XE 17.12.5
Cisco Wireless AP CW9176またはCW9178をサポートするすべてのWLCコントローラプラットフォーム	Cisco IOS XE 17.15.3 (APSPおよびSMU搭載)
Cisco Wireless AP CW9172をサポートするすべてのWLCコントローラプラットフォーム	Cisco IOS XE 17.15.3 (APSPおよびSMU搭載)

表 1.異なるWLCプラットフォームに対して推奨されるCisco IOS XEリリースの要約ビュー

IOS XE 17.17.1

Cisco IOS XE 17.17は、MRを予定していない短期リリースです。このリリースでサポートされている新機能は、17.17.1のリリースノートに示されています。

IOS XE 17.16.1

Cisco IOS XE 17.16は、MRを予定していない短期リリースです。Cisco IOS XE 17.16はWi-Fi 7 APをサポートしておらず、Cisco IOSベースのAPの参加は許可されなくなったことに注意してください。このリリースでサポートされている新機能は、[17.16.1のリリースノートに示されています。](#)

IOS XE 17.15

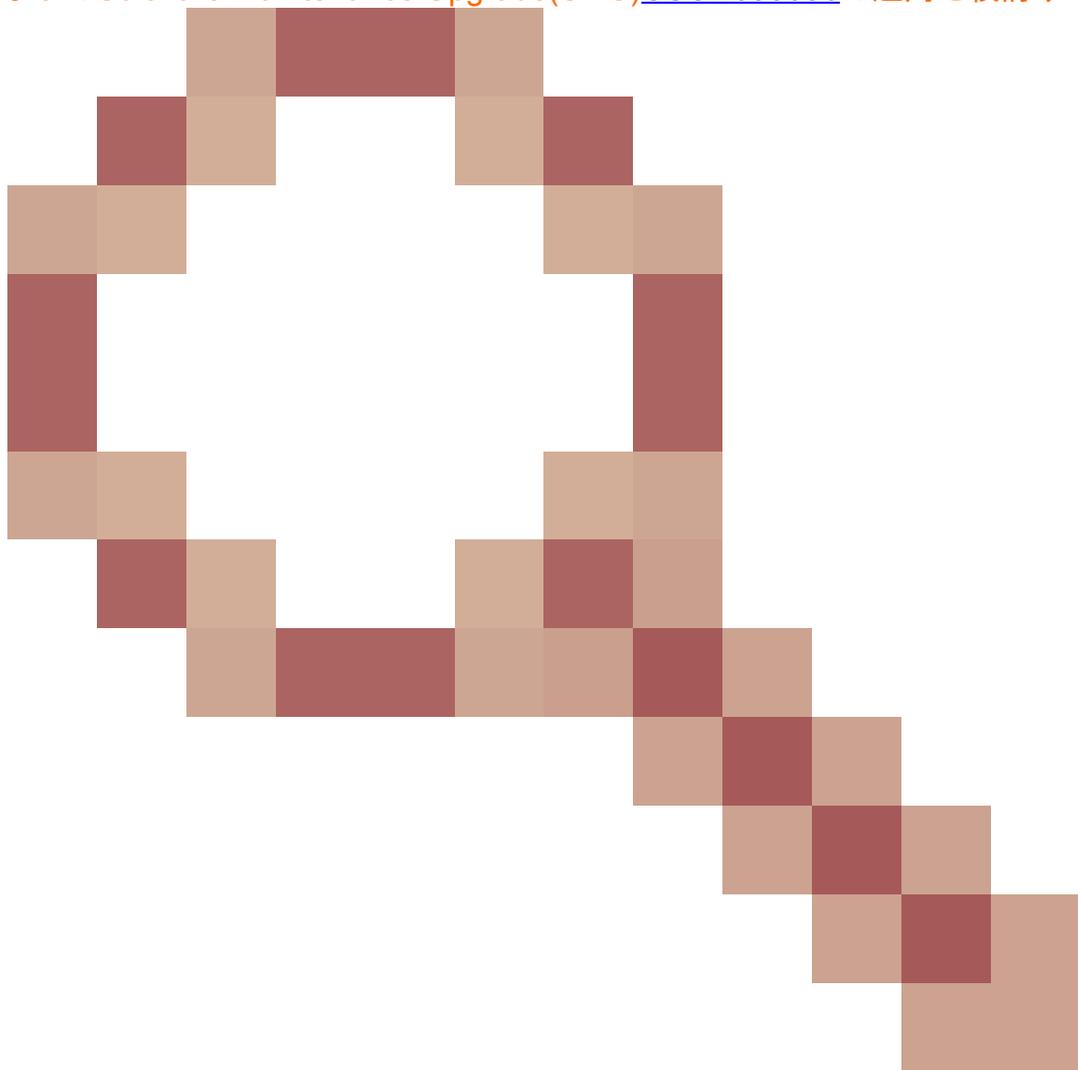
Cisco IOS XE 17.15は、複数のメンテナンスリリース(MR)が計画されている長時間のトレインです。このリリースでサポートされている新機能は、17.15.1のリリースノートに示されています。

17.15.3

Cisco IOS-XE 17.15.3は、17.15リリーストレインの2番目のメンテナンスリリースです。

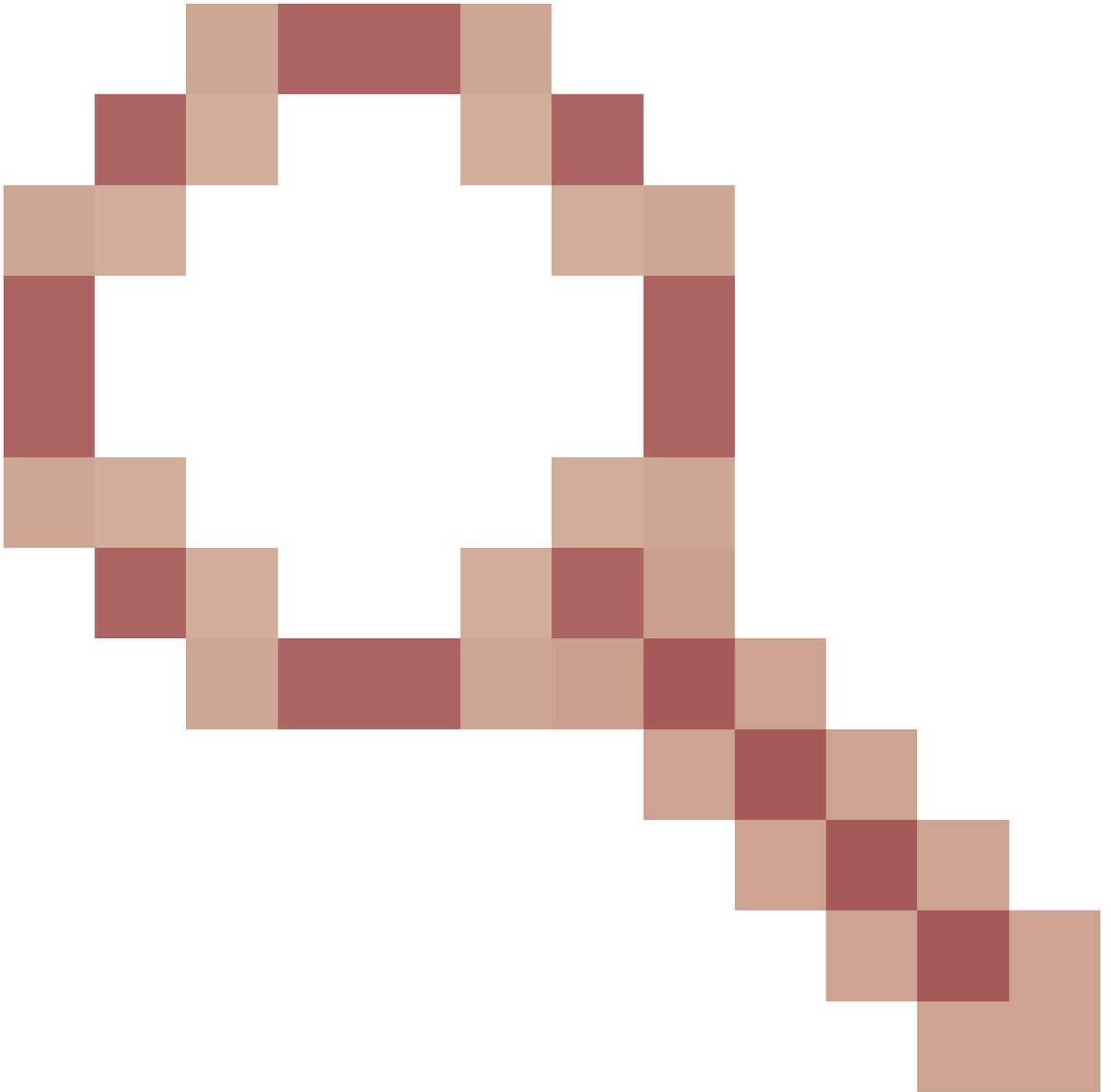
CW9800 WLCアプライアンス、またはCW9176およびCW9178 WiFi7 APを使用して導入するすべての環境では、IOS XE 17.15.3がSMUおよびAPSPとともに推奨リリースです。

シスコでは、リロードなしのSoftware Maintenance Upgrade(SMU)[CSCwo95396](#)の適用を検討す



ることをお勧めします

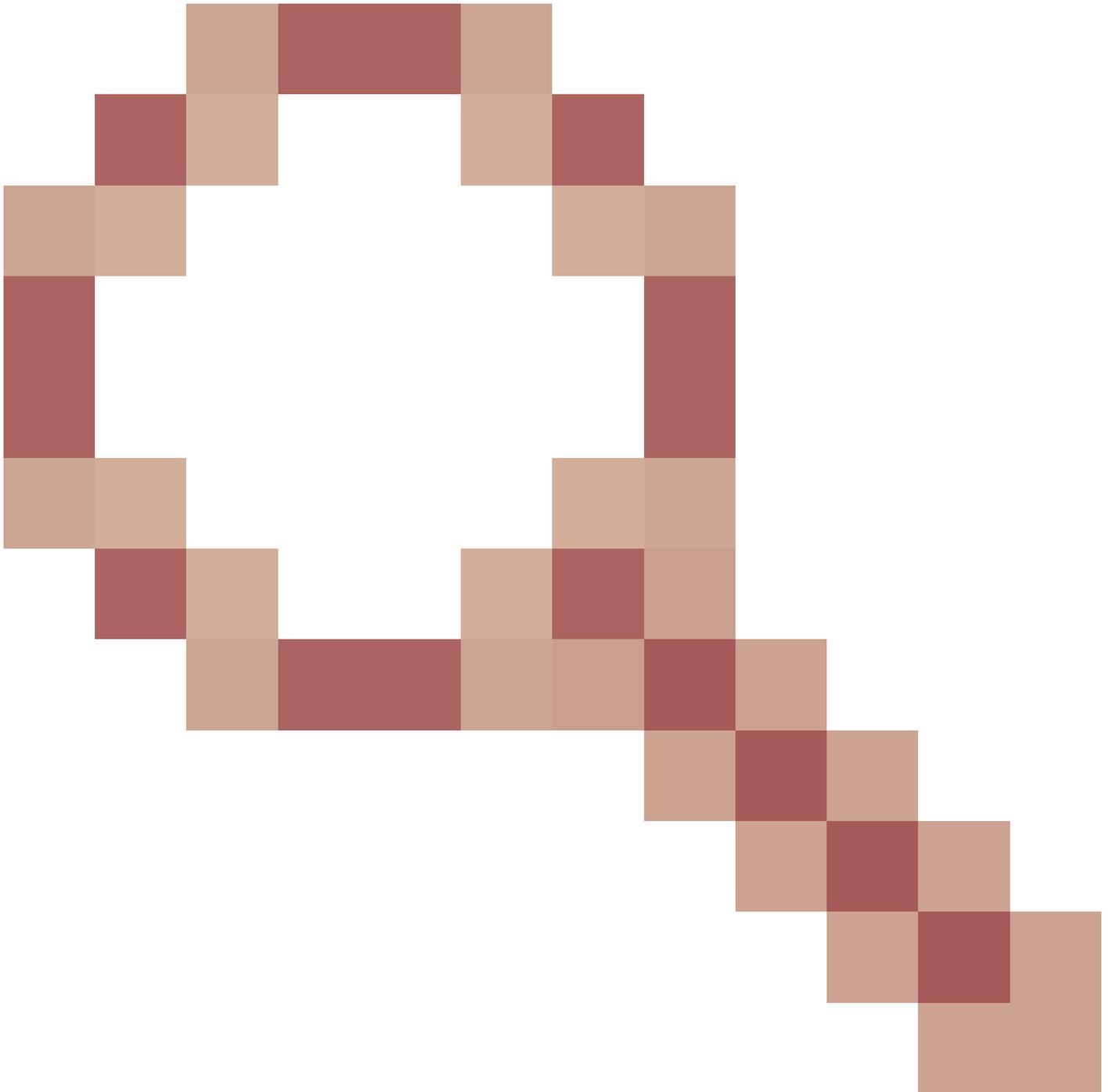
Catalyst Centerからのプロビジョニング中にワイヤレスLANコントローラ(WLC)がリロードする問題をAPSP3 [CSCwp18505](#)とともに解決します。



catalyst 9800ワイヤレスLANコントローラの場合

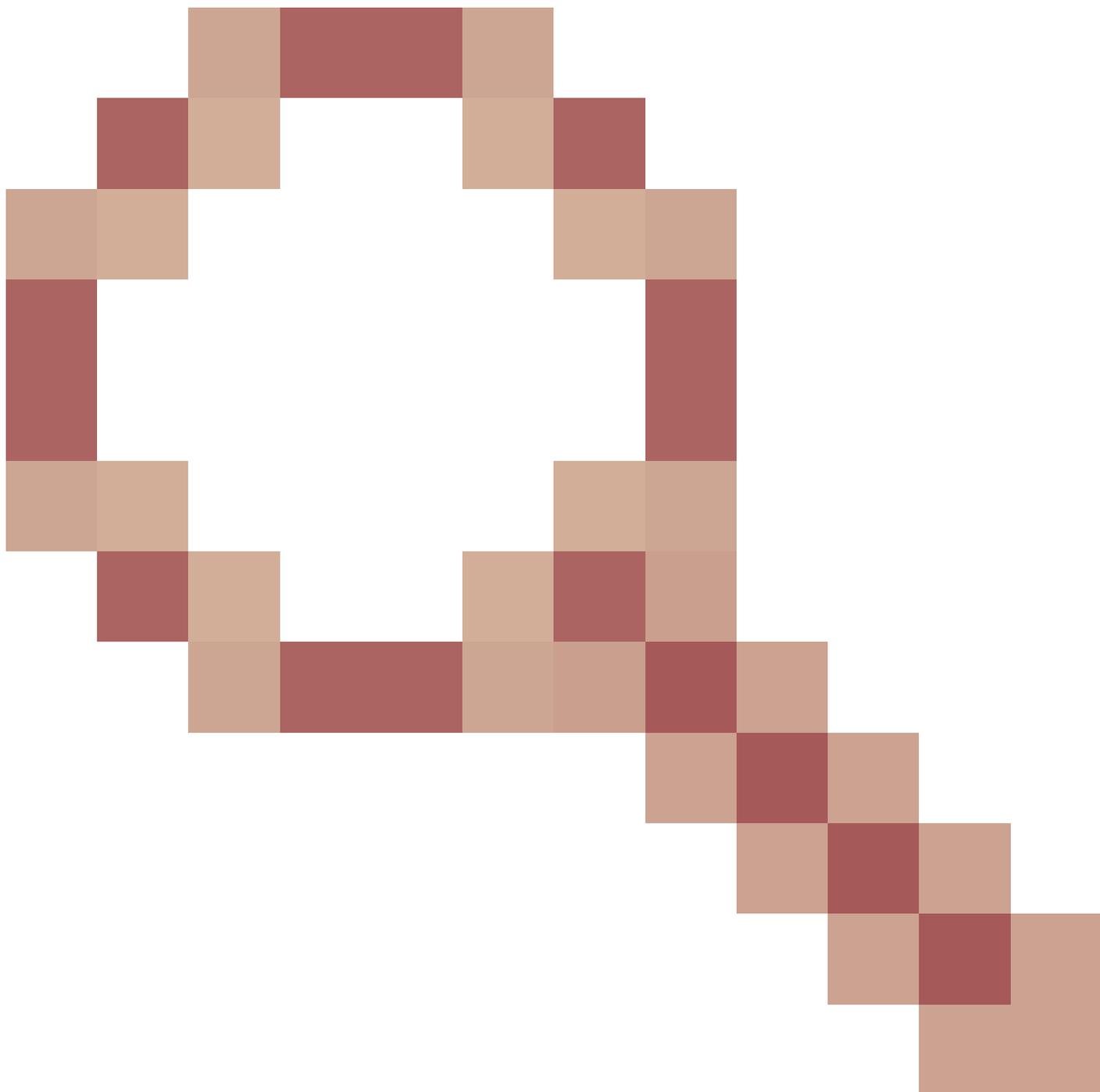
このAPSPでは、次のバグが解決されています。

[CSCwn18885](#)



Wi-Fi6E/7 APがクラッシュファイルなしのアクセス違反でリポートする、リロード理由「unknown」 SF#07624324

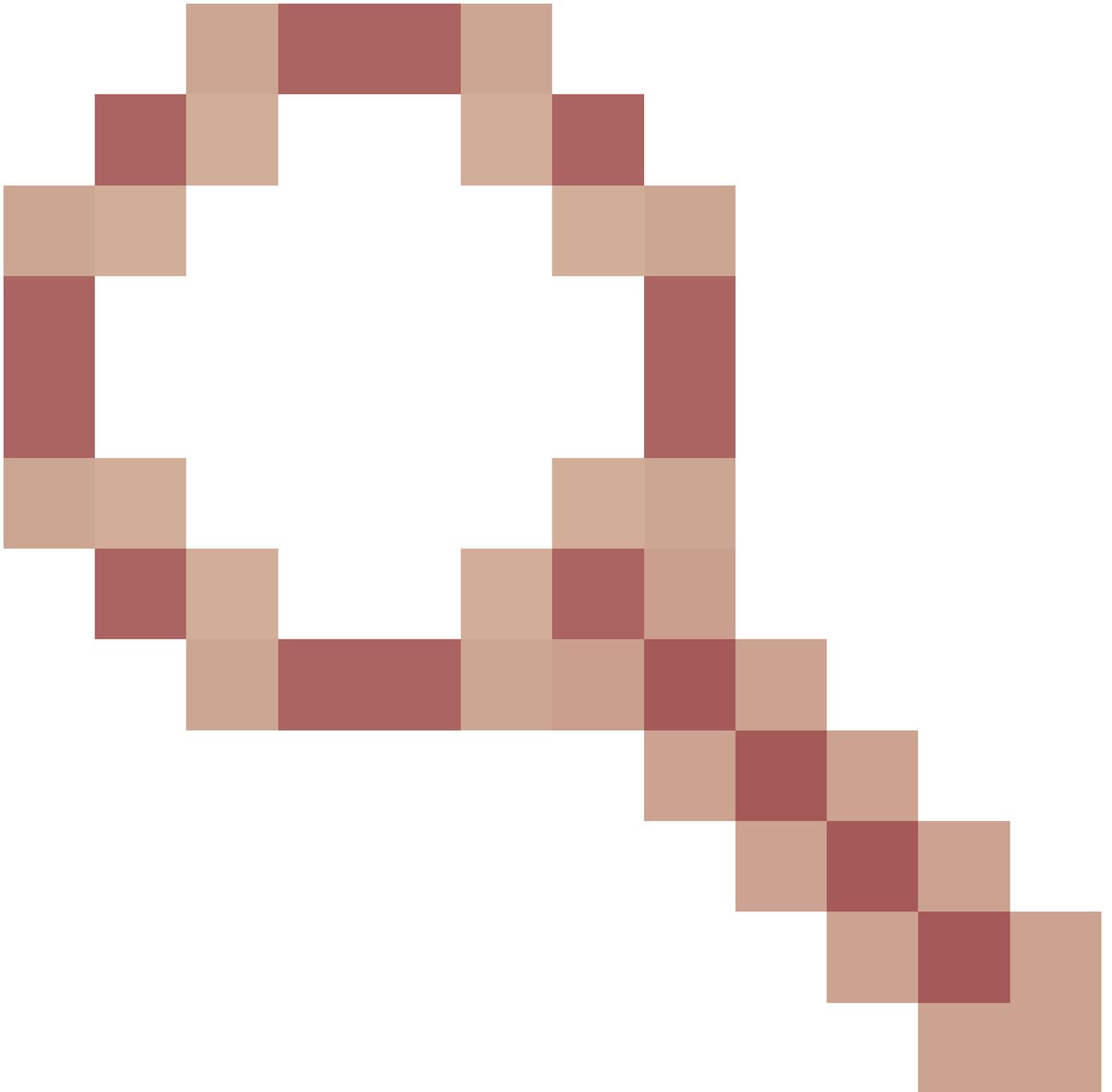
[CSCwo94810](#)



TI WiFiモジュール (PITトラック) を搭載したIOTクライアントを916x/9130/917xに関連付けることができない[SF 07835314]

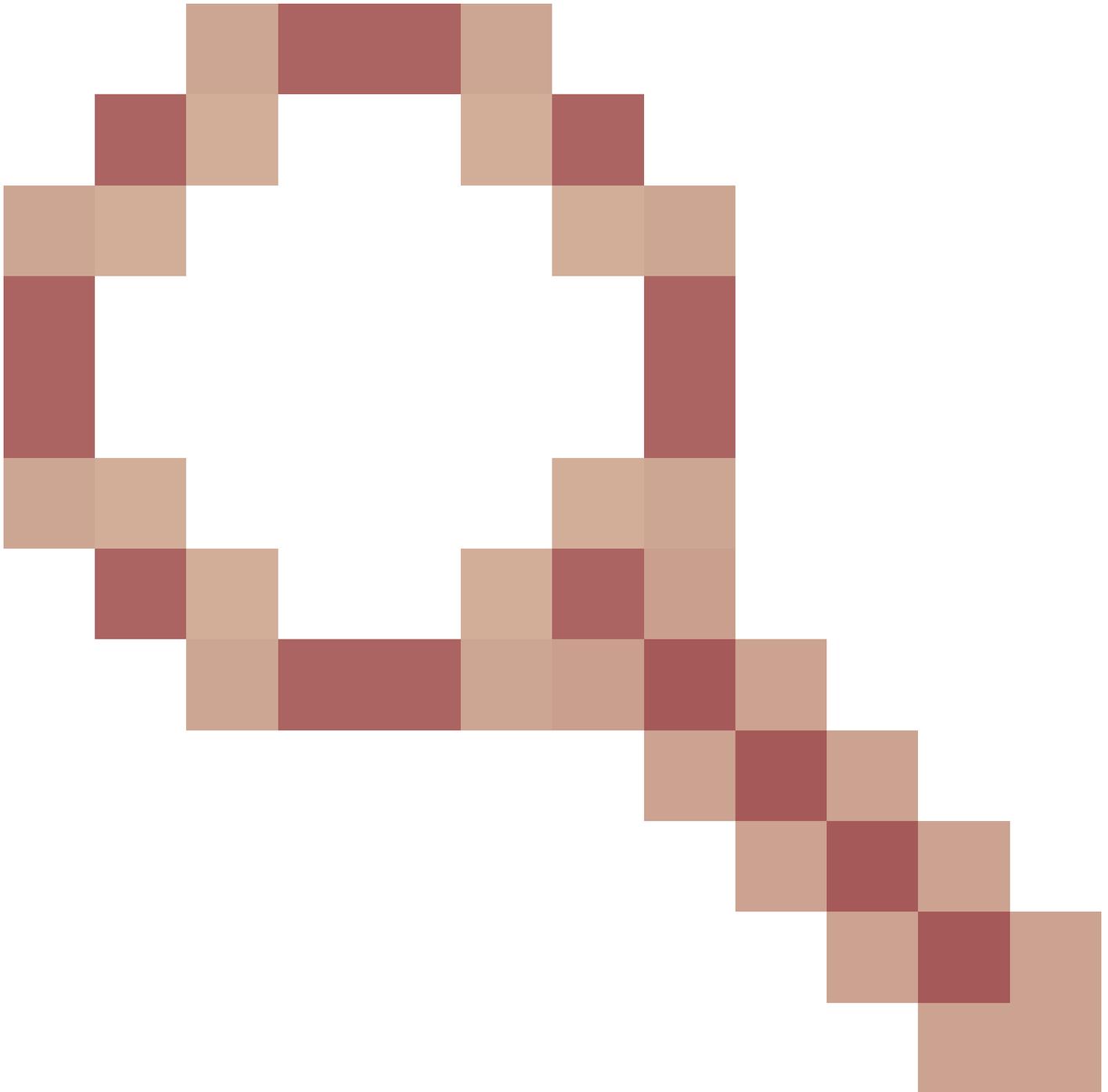
注：このAPSPには、以前のAPSPからの修正が含まれています。

[CSCwo81133](#)



ビーコンがスタックした後に複数のIW9167 APでチャンネルの不一致が見られ、回復に時間がかかりました

[CSCwo70926](#)



[CW9172I/CW9172H] 17.15.3および17.17.1 CCOイメージのu-bootアップデート

17.15.2b

Cisco IOS XE 17.15.2bは、CW9172Iアクセスポイントの導入のみをサポートするため導入されており、利用可能になった時点でIOS XE 17.15.3にアップグレードすることをお勧めします。

17.15.2

Cisco IOS XE 17.15.2は、17.15リリーストレインの最初のメンテナンスリリースで、以下のサポートが導入されています

- WiFi7

- アクセスポイント(CW9176I、CW9176D1、CW9178I)
- WiFi7 APのマルチリンク動作(MLO)
- WPA3セキュリティに関する考慮事項
- グローバル使用AP (AP PID/SKUのブートモードおよび規制ドメインからの分離)
- シスコネットワークサブスクリプション
- AP AnyLocate/UltraWide Band Rangingテクノロジー

 注意：ローカルスイッチングを使用したFlexConnectの導入では、WebAuth SSIDでのクライアントのローミングにより、クライアントがランダムにゲートウェイへの到達可能性を失う可能性があります。詳細については、[CSCwn17412](#)を確認してください。

17.15.1

Cisco IOS XE 17.15.1は、17.15トレインの最初のバージョンです。17.13.1、17.14.1、および17.15.1以降でサポートされるすべてのハードウェアと機能に関して、17.15.2に展開を移行することをお勧めします

17.15.1には、Cisco Bug ID [CVE-2024-6387 / CSCwk62269](#)で説明されているアクセスポイントの「regreSSHion」の脆弱性に対する修正が含まれています

IOS XE 17.14.1

Cisco IOS XE 17.14.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。このリリースでサポートされている新機能は、[17.14.1のリリースノートに示されています](#)。これは、新しいCatalyst 9800シリーズWLCをサポートする最初のリリースです

- Cisco Catalyst CW9800Mワイヤレスコントローラ
- Cisco Catalyst CW9800H1およびCW9800H2ワイヤレスコントローラ

17.13.1または17.14.1以降でサポートされているすべての新しいハードウェアと機能については、17.15.2にアップグレードすることを推奨します。

IOS XE 17.13.1

Cisco IOS XE 17.13.1 は、MR が計画されていない短期的リリースです。このリリースでサポートされている新機能は、[17.13.1のリリースノートに示されています](#)。17.13.1以降でサポートされているすべての新しいハードウェアと機能については、17.15.2にアップグレードすることを推奨します。

Dublin 17.12

このリリースでサポートされる新機能は、『[17.12.1リリースノート](#)』に記載されています。すべての導入において17.12.5が推奨されます。

17.9に対する17.12の主な利点は次のとおりです。

- 6GHzをサポートする国が増加

- 5および6GHzで単一のWPA2+WPA3 SSIDを使用する可能性があります。
- WNCdプロセス間でAPのロードバランシングを行うRRMベースのアルゴリズム

17.12.5

Cisco IOS XE 17.12.5は、17.12トレインの4番目のバグ修正リリースです。これには、17.12.4に関するSMUとAPSPの修正、およびその他多数のバグ修正が組み込まれています。

17.12.4

Cisco IOS XE 17.12.4は、17.12トレインの3番目のバグ修正リリースです。

17.12.4 SMU

SMU [CSCwj93876](#) (ヒットレス) は、Catalyst CenterまたはCisco Spacesへの1つ以上のNMSP接続が存在する場合の低速メモリーリークによるwncmgrdでのC9800のクラッシュを修正します。

SMU [CSCwm33207](#) (WLCのリロードが必要) では、17.12.4および17.9.5に影響を与えるSDA Wirelessの展開での2つの既知の不具合に対する修正が提供されています

SMU [CSCwi78109](#) (WLCのリロードが必要) により、C9800 WebUIの修正が使用できなくなり、syslogに次のエラーメッセージが反映されます。%CLI_AGENT-1-NVGEN_ERR: Error while processing NVGEN command.

SMU [CSCwn26561](#) (ヒットレス) :RFID統計情報の収集ウィンドウ中に送信側RFID測定が欠落する

SMU [CSCwj04031](#) SDAワイヤレス : クライアントがIPv6リンクローカルアドレスをリリースすると、WLCはSGTを0に強制します。

SMU [CSCwk81268](#) : クライアントのipv6アドレスの削除が大きなer番号で発生した場合に、ipv6バッファオーバーランが原因でクラッシュします。

17.12.4 APSP8または17.12.4.208に、次に示す修正が含まれます。

[17.12.4 APSP8リリースノート](#)

17.12.3

Cisco IOS XE 17.12.3は、17.12トレインの2番目のバグ修正リリースです。

注意 :

- 1) SDアクセスの導入がある場合は、[CSCwj04031](#) (クライアントがIPv6リンクローカルアドレスをリリースすると、WLCによってSGTが0に強制される) を確認してください。該当する場合は、TACに連絡してSMUパッチを入手してください。
 - 2) HA導入では、HaフェールオーバーによってC9800 WLCの設定が失われ、ワイヤレスの停止につながる可能性があります。これは[CSCwj73634](#)で追跡され、HAフェールオーバー
-

 で設定が失われる可能性があります。

17.12.2

Cisco IOS XE 17.12.2は、17.12トレインの最初のバグ修正リリースで、[CVE-2023-20198 CVE-2023-20273 / CSCwh87343](#)の修正が含まれています。

Cupertino 17.9

17.9.7

Cisco IOS XE 17.9.7は、17.9トレインの最後のリリースとなる予定です (将来セキュリティ脆弱性のアップデートを除く)。 [17.12.5に移行することをお勧めします。](#)

17.9.6

Cisco IOS XE 17.9.6は、バグ修正リリースです。

17.9.6 APSP3または17.9.6.202

[17.9.6 APSP3リリースノート](#)

17.9.5

Cisco IOS XE 17.9.5はバグ修正リリースであり、17.9.4aおよびAPSPでカバーされているすべての問題を修正します。9162 APを使用している場合は、17.9.4APSP8で開始された問題である [CSCwj45141](#)に注意してください

SDアクセスを導入する場合は、Cisco Bug ID [CSCwj04031](#) (登録ユーザ専用) を参照してください。WLCは、クライアントがIPv6リンクローカルアドレスをリリースすると、SGTを0に強制します。該当する場合は、TACに連絡してSMUパッチを入手してください。

17.9.4a

Cisco IOS XE17.9.4aは、[CVE-2023-20198 CVE-2023-20273 / CSCwh87343](#)で説明されているように、Cisco IOS XEソフトウェアのWeb UI機能の複数の脆弱性に対処するために公開されています。

SDアクセスを導入する場合は、Cisco Bug ID [CSCwj04031](#) (登録ユーザ専用) を参照してください。WLCは、クライアントがIPv6リンクローカルアドレスをリリースすると、SGTを0に強制します。該当する場合は、TACに連絡してSMUパッチを入手してください。

17.9.4aAPSP15または17.9.4.215

[17.9.4a APSP15リリースノート](#)

17.9.4

Cisco IOS XE 17.9.4 は、主にバグ修正を目的としたリリースで、次を追加しています。

- 製品分析のサポート
- アラブ首長国連邦向けの ROW サポート

17.9.3

Cisco IOS XE 17.9.3 は、バグ修正を目的としたリリースで、次を追加しています。

- IW9167E のサポート
- C9800 の Wireless Network Control daemon (WNCd) インスタンス間で AP のロードバランシングを改善するためにサイトの負荷を指定する機能
- Wave 1 アクセスポイント (1700/2700/3700/1572) のサポートが再導入されますが、このサポートは、通常の製品ライフサイクルサポートを超えて延長されません。これらのAPの機能は17.3の機能と同等であり、17.3.xから17.9.3へのアップグレードはx >=4cでサポートされています。詳細については、[FAQ を参照してください。](#)
- C9800 での AAA 中間アカウントングを無効にするコマンド

17.9.3 APSP6または17.9.3.206

[17.9.3 APSP6リリースノート](#)

Bengaluru 17.6

Cisco IOS XE 17.6.xは、複数のメンテナンスリリースを含む長寿命のトレインです。[17.6 End of Life bulletin](#)を参照してください。 [17.12.5に移行することを推奨します。](#) これは直接アップグレードです。詳細は、『[17.12.xへのアップグレードパス](#)』を参照してください。

17.6.8

Cisco IOS XE 17.6.8は、最新の脆弱性アドバイザリに対する修正を提供する最後のメンテナンスリリースです。

Amsterdam 17.3

Cisco IOS XE 17.3.x は、いくつかのメンテナンスリリース (MR) が計画されている長期的トレインです。17.3 は、[17.3 のサポート終了案内](#)に記載されているソフトウェアメンテナンスの有効期限に達しました。17.3用の最後のMRは、2023年9月を目標としたpsirt専用リリースです。

[17.12.5に移行することを推奨します。](#) 現在実行している17.3.xリリースによっては、この移行に段階的なアップグレードが必要になる場合があります。詳細は、『[パスを17.12.xにアップグレードする](#)』を参照してください。

17.3.8a

Cisco IOS XE17.3.8aは、17.3リリーストレインの最後のバグ修正MRです。推奨リリースに移行できず、17.3トレインを使用し続ける必要がある場合は、17.3.8aを推奨します。

ジブラルタル16.x

Cisco IOS XE 16.10.1は、Catalyst 9800 SKU (アプライアンス : 9800-40、9800-80、プライベート/パブリッククラウド上の9800、9800-CL、およびCatalyst 9300スイッチ上の9800ソフトウェア) を正式にサポートするCisco IOS XEソフトウェアの最初のリリースで、現在終了中です (EoL)。16.xリリーストレイン用に2つのリリース(16.11.1(EoL)と16.12.1(EoL))が公開されています。Cisco IOS XE 16.12.1は、C9800 WLCの最初の長期トレーディングであり、Google Cloud上の9800-L、9800-CL、およびCatalystアクセスポイント(EWC-AP)上の組み込み型ワイヤレスコントローラ(EWC)などの機能のサポートが追加されました。

16.12.8

これは、16.xトレインの最後のメンテナンスリリース(MR)です。Ciscoでは、ご使用の環境を17.12.5に移行することを推奨しています。この移行には段階的なアップグレードが必要です。詳細は、『[17.12.xへのアップグレードパス](#)』を参照してください。

ハードウェア 9800 WLC 上のフィールドプログラマブル (FPGA) ファームウェア

物理的なCatalyst 9800 WLC(9800L、9800-40、9800-80)では、Cisco IOS XE以外に、アップグレードが可能なコードと必要なコードが2つあります。

- ROMモニタ(ROMMON) : ハードウェアを初期化し、C9800アプライアンス上でIOS XEソフトウェアをブートするブートストラッププログラムです。次のコマンドを実行すると、アプライアンスで実行されている ROMmon のバージョンを確認できます。

```
#show rom-monitor chassis {active | standby} R0
```

- PHY : 物理層、具体的には、C9800 アプライアンスのフロントエンド ディストリビューションおよびアップリンクポートをサポートする共有ポートアダプタ (SPA) モジュールを指します。イーサネット/ハードウェアプログラマブルとも呼ばれます。次のコマンドを実行すると、アプライアンスで実行されている PHY のバージョンを確認できます。

```
#show platform hardware chassis active qfp datapath pmd ifdev | include FW
```

新しいファームウェアは通常、システムの状態 (温度センサー、ファン、電源など) を保護し、物理ポートでのデータの送受信に関する問題に対処するためにリリースされます。利用可能な最新の FPGA ファームウェアにアップグレードすることをお勧めします。

「[C9800 FPGAのアップグレード](#)」で説明されている場合は、新しいファームウェアがリリースされた特定の不具合とともにアップグレード手順を実行してください。

表 1 に、各プラットフォーム用のバージョンを示します。

	ロード	イーサネット PHY	光ファイバ PHY
9800-L-F	16.12(3r)	N/A	17.11.1
9800-L-C	16.12(3r)	17.11.1	N/A
9800-40	17.12(1r)	N/A	16.0.0
9800-80	17.12(2r)	N/A	16.0.0
CW9800M	17.15(1r)	N/A	N/A
CW9800H1	17.15(1r)	N/A	N/A
CW9800H2	17.15(1r)	N/A	N/A

9800 WLC での高可用性ソフトウェアメンテナンス

C9800 は、展開ライフサイクルのソフトウェアメンテナンスフェーズで可用性を確保するための複数の機能を提供します。これらには、In-Service Software Upgrade (ISSU)、ローリング AP アップグレード、WLC の不具合または PSIRT に対処するためのホットパッチとコールドパッチ、AP 固有の修正に対処するための AP パッチ、および既存のコントローラコードで新しい AP モデルをサポートするための AP パッチが含まれます。

ISSU

ISSU のサポートは、17.3.1 で導入され、長期的リリース (17.3.x、17.6.x、および 17.9.x) に限定されています。つまり、ISSU は、次のリリースで機能します。

1. 長期的メジャーリリース内 (17.3.x ~ 17.3.y、17.6.x ~ 17.6.y、17.9.x ~ 17.9.y など)
2. 長期的メジャーリリースの間 (17.3.x ~ 17.6.x、17.3.x ~ 17.9.x など)

注：これは、現在サポートされている長期リリースの後の2つの長期リリースに限定されます。

ISSU はサポートされて「いません」。

1. 短期的リリーストレインのマイナーリリース内 (17.4.x ~ 17.4.y、17.5.x ~ 17.5.y など)
2. 短期的リリーストレインのマイナーリリースとメジャーリリースの間 (17.4.x ~ 17.5.x など)
3. 長期的リリースと短期的リリースの間 (17.3.x ~ 17.4.x、17.5.x ~ 17.6.x など)

ソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU) パッチ

C9800 は、コールドパッチとホットパッチの両方をサポートしており、バグ修正をソフトウェア メンテナンス アップグレード (SMU) ファイルとして提供することができます。

- ホットパッチ : システムのリロードは必要ありません。つまり、WLC と AP は動作しつづけます。9800 ステートフル スイッチオーバー (SSO) ペアの場合、SMU インストールプロセスにより、パッチが両方のシャーシに適用されます。
- コールドパッチ : コールドパッチの場合はシステムのリロードが必要です。9800 SSO ペアの場合は、ダウンタイムなしでコールドパッチを適用できます。

アクセス ポイント サービス パック

アクセスポイント (AP) でのソフトウェア不具合の修正は、アクセス ポイント サービス パックを介して提供できます。これには AP のリロードが必要ですが、9800 WLC のリロードは必要ありません。

アクセス ポイント デバイス パック

新しい AP モデルのサポートは、WLC コードをアップグレードしなくても、既存の WLC コードで利用可能にすることができます。このAPは、既存のWLCコードで使用可能な機能のみをサポートします。

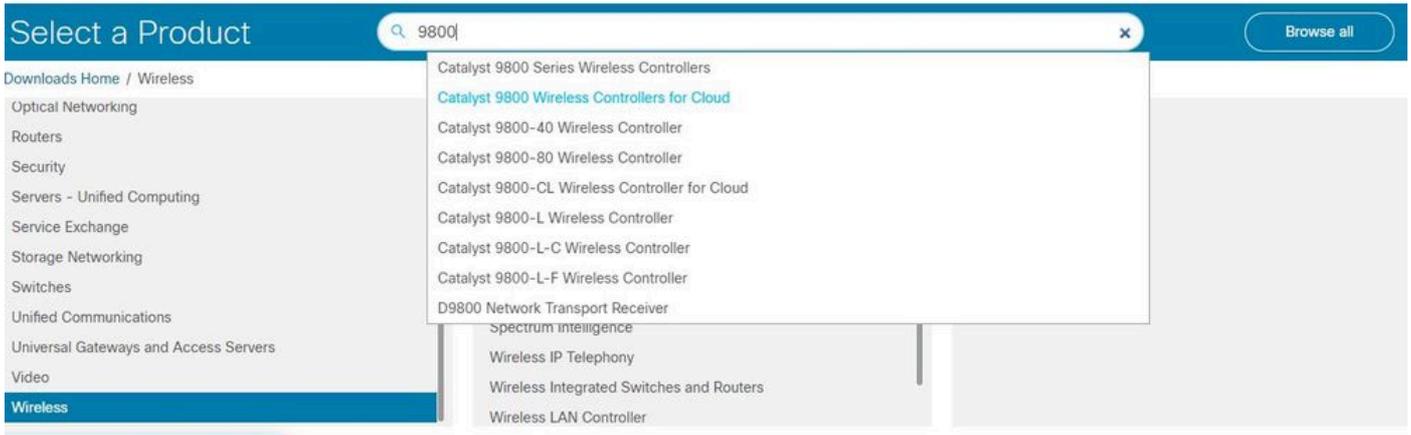
ガイドラインと要件

1. SMU パッチは、MD リリース後の長期的リリース (16.12、17.3、17.6、17.9 など) についてのみ生成されます。
2. SMU は、少なくとも Network Advantage ライセンスを実行している 9800 WLC にのみ適用できます。[各種ライセンスのワイヤレス機能マトリックスを参照してください。](#)
3. ほとんどの導入に適用できるSMUは、cisco.comで公開されています
4. SMU またはパッチは、すべてのバグ修正に使用できるわけではありません。通常、バグ修正に関連するコード変更により、パッチ適用可能性が決まります。
5. SMU の適用性は、不具合ごとに評価されます。使用しているC9800がライセンスに基づいてSMUパッチの適用対象となり、特定の不具合のSMUが必要な場合は、Cisco Technical Assistance Center(TAC)に連絡してバグを評価してもらってください。

これらの機能の詳細については、[C9800 WLC のパッチガイド](#)を参照してください。

Cisco.com での各種 9800 の SMU、APSP、および APDP イメージの場所

ステップ 1 : ダウンロードホーム に移動し、[製品の選択 (Select a Product)] の検索バーで 9800 を検索して、使用している 9800 フォームファクタを選択します。



ステップ 2 : [ソフトウェアタイプ (Software Type)] メニューから、必要に応じて、SMU、APSP、または APDP を選択します。

Select a Software Type

[IOS XE Hardware Programmable Devices](#)

[IOS XE In-Service Software Upgrade \(ISSU\) Matrix](#)

[IOS XE ROMMON Software](#)

[IOS XE Software](#)

[IOS XE Software AP Device Pack](#)

[IOS XE Software AP Service Pack](#)

[IOS XE Software Maintenance Upgrades \(SMU\)](#)

[Management Information Base \(MIB\)](#)

[NBAR2 Protocol Packs](#)

[Wireless Lan Controller Web Authentication Bundle](#)

Software Defined Access (SDA) に関する注意事項

SDA に最適なコードの組み合わせに関する推奨事項については、常に SDA 互換性マトリックスを参照してください。これには、シスコの SDA ソリューションテストチームによってテストされた、Cisco DNA Center、Identity Service Engine (ISE)、スイッチ、ルータ、およびワイヤレス LAN コントローラでのコードの特定の組み合わせが示されています。

Inter Release Controller Mobility (IRCM)

- IRCM は、2504/7510/vWLC コントローラではサポートされておらず、5508/8510/5520/8540/3504 プラットフォームでのみサポートされています。
- 一般に、AireOS WLCとのInter-Release Controller Mobility(IRCM)互換性の場合
 - シスコでは、すべての導入にAireOS 8.10.196.0を推奨します。
 - 環境内に古いWLCまたはアクセスポイントが存在し、AireOS 8.5よりも後にアップグレードできない場合、TACでは[8.5.182.109 \(3504sの場合は8.5.182.111\)](#) IRCMコードを推奨します。

注：すべてのバージョンの 8.5 コードで IRCM がサポートされているわけではありません。cisco.com で入手可能な 8.5 IRCM のバージョンには、8.5.164.0、8.5.164.216、8.5.176.0、8.5.176.1、8.5.176.2、8.5.182.104 が含まれます。

 注意：

8.10.185.0 ~ 8.10.196.0を実行する1800シリーズAP(1815/1830/1850)を使用した導入では、[CSCwb51757](#)のコミットによる回帰が原因で、5Ghzで誤って高いチャネル使用率が報告され、パフォーマンスの問題が発生する場合があります

1815シリーズのAPの場合、修正はTACから入手できる8.10.190.9 / 8.10.196.7で提供されています。

1830/1850シリーズのAPでは、8.10コードトレインではこの修正が利用できないため、この問題が発生したAireOS展開では、[CSCwb51757](#)よりも前にコードをダウングレードする必

要があります。

 コミット(8.10.183.0)

AireOS 推奨コードについては、次を参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/docs/wireless/wireless-lan-controller-software/200046-tac-recommended-aires.html>

Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス LAN コントローラでサポートされている機能

[リリースノート](#)

[リリースごとの Cisco IOS XE ワイヤレス機能のリスト](#)

[AireOS と Cisco IOS XE の機能比較マトリックス](#)

[アクセスポイントおよびWLCセクタ](#)



翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。